

残留リスクマップの様式例（残留リスク一覧を参照する場合）

機械ユーザーによる保護方策が必要な残留リスクマップ（略称：残留リスクマップ）

製品名：「 」

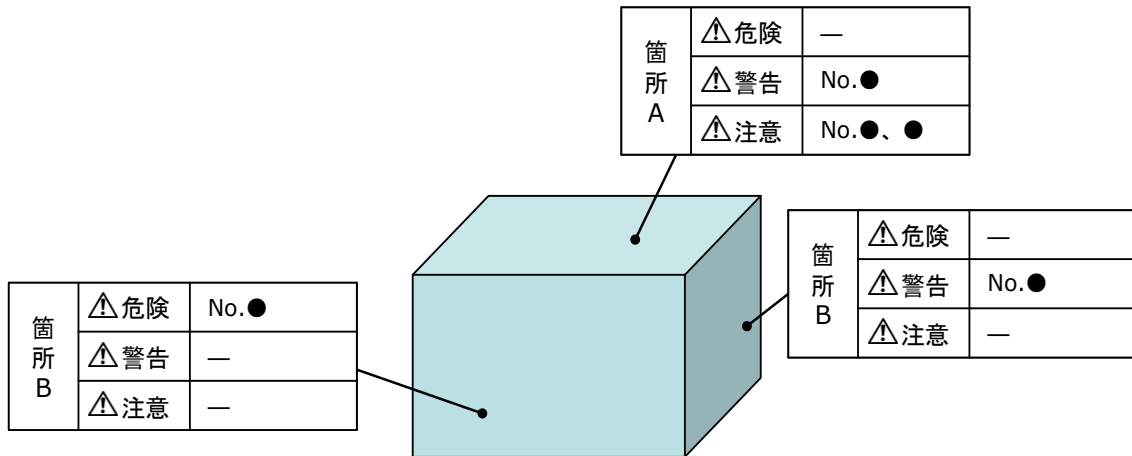
○年○月○日作成
株式会社○○○○○○

※ 必ず取扱説明書の内容をよく読み、理解してから本製品を使用すること。本資料は取扱説明書の参考資料であり、本資料の内容を理解しただけで本製品を使用してはならない。

残留リスクは、以下の定義に従って分類し記載している。

- **⚠危険**：保護方策を実施しなかった場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が高い内容
- **⚠警告**：保護方策を実施しなかった場合に、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容
- **⚠注意**：保護方策を実施しなかった場合に、人が軽傷を負う可能性がある内容

図中に示されている箇所Aの記号及び番号は、本製品の「残留リスク一覧」に記載されているものと一致している。各々の残留リスクの詳細については、「残留リスク一覧」を参照のこと。



機械上の箇所が特定されない残留リスク	
⚠危険	No. ●、●
⚠警告	No. ●、●、●
⚠注意	No. ●

受領確認
○○○株式会社 ○○部 ○○課 ○山 ○太 印